

事務事業評価調書

事務事業名	文化財調査事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	文化財											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	埋蔵文化財、有形文化財等市内各種文化財の調査を行う。 市内の文化財を把握し、保存、活用を図る。												
(7) 事業概要	埋蔵文化財の発掘調査、報告書等作成のための内業整理。有形文化財等市内に所在する文化財の現況や実態調査等に学術的な評価や価値を把握し、あわせて活用等の検討を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	08	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,358	8,782	12,119	11,375	11,865							
	人件費	職員数	人	1.30	1.30	1.90	1.90	1.90						
		総額(B)	千円	10,858	10,451	15,523	15,010	15,299						
	総事業費(A+B)		20,216	19,233	27,642	26,385	27,164							
	特定財源(C)		515	516	2,040	1,873	1,912							
	(内訳)	国	500	500	2,025	1,860	1,900							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	15	16	15	13	12							
	市負担(D)		19,701	18,717	25,602	24,512	25,252							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		19,701	18,717	25,602	24,512	25,252								
財源計(C+D)		20,216	19,233	27,642	26,385	27,164								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大学等専門機関、市内文化財研究団体										
			②											
			③											
	主な委託内容		有形文化財等の調査											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 埋蔵文化財発掘届出等及び試掘調査依頼書の件数	目標値	(単位:件)	97.00	92.00	91.00
			実績値	(単位:件)	91.00	78.00	
			達成度(%)		93.8	84.8	
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	211.35	344.85	
				一般財源(単位:千円)	205.68	320.83	
	②	指標内容 埋蔵文化財裏書発行件数	目標値	(単位:件)	999.00	953.00	992.00
実績値			(単位:件)	1,012.00	948.00		
達成度(%)			101.3	99.5			
目標値の積算方法		過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	19.00	28.37	
				一般財源(単位:千円)	18.50	26.40	
(2) 成果指標		①	指標内容 開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数	目標値	(単位:件)	124.00	134.00
	実績値			(単位:件)	167.00	169.00	
	達成度(%)			134.7	126.1		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	115.17	159.16	
				一般財源(単位:千円)	112.08	148.08	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		文化財を調査し、保護するのは行政の責務であり、その成果を蓄積することにより指定の文化財が増え、文化財の保存や保護意識の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	文化財調査事業	事業区分	その他
事務事業番号	972				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

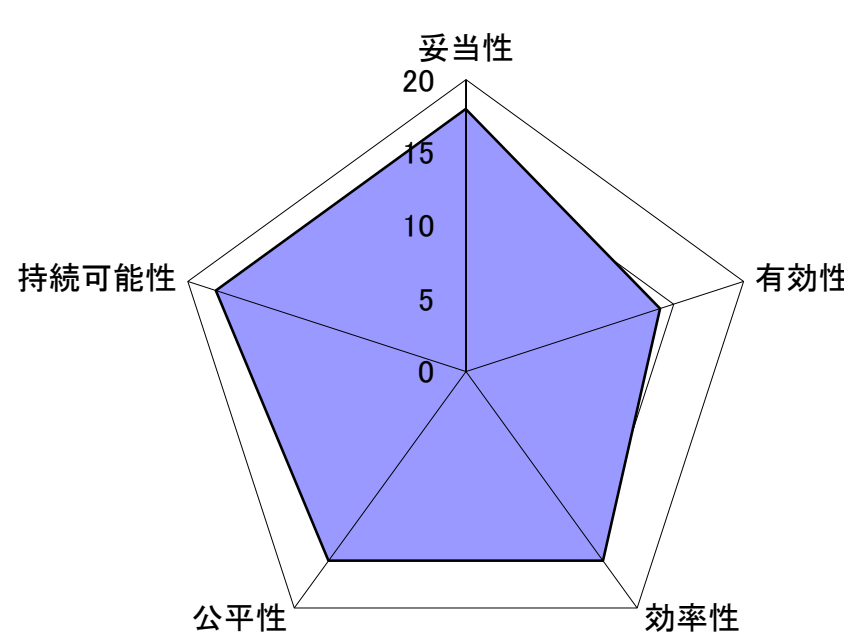
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	972
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

調査は開発行為に伴う緊急調査となるため、数値目標の設定は困難である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、調査の事業量全体の把握が困難である。その他の各種文化財については開発等によって失われてしまうことを避けるために、その保護を目的として文化財の所在状況や実態を把握するための調査を行っており、これを積極的に進めていく。また、文化財調査は所有者等の協力が不可欠であるが、文化財に対する理解は高いとはいえず、今後文化財保護の啓発を進めることによって、文化財に対する理解を高め、さらに調査を進めていくことができると考えられる。所有者等の協力や市民研究団体の調査活動を通じて、それらを展示公開や冊子等で報告することにより、広く市民に保護意識の啓発に努めたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	文化財公開・啓発事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 30			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	史跡、文化財等				
		結果 (どのような効果が得られるのか)	文化財を整備・保存するとともに文化財説明板整備等により文化財を身近に感じるための啓発事業の実施。 文化財保護への理解を得る。					
(7)	事業概要	文化財調査の成果をまとめて報告書を作成する。文化財について正しく理解していただくために、説明板を設置するとともに、教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、文化財の保存・活用・保護等の啓発を図り、文化財保護行政の理解を得る。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 08	大事業 02	中事業 02	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		2,222	1,880	2,581	2,451	2,584
		人件費	職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026
		総事業費(A+B)		6,398	5,900	6,666	6,401	6,610
		特定財源(C)		37	28	40	64	40
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	37	28	40	64	40
		市負担(D)		6,361	5,872	6,626	6,337	6,570
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	6,361		5,872	6,626	6,337	6,570		
財源計(C+D)		6,398	5,900	6,666	6,401	6,610		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 啓発等冊子作成数	目標値	(単位:件)	2.00	2.00	2.00	
			実績値	(単位:件)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,950.00	3,268.00	
				一般財源(単位:千円)		2,936.00	3,236.00	
	②	指標内容 説明板の設置件数(補修含む。説明板設置は隔年の予算措置のため、平成27年度は予算措置されていない。)	目標値	(単位:件)	1.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	1.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	6,536.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	6,472.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 史跡等文化財管理件数	目標値	(単位:件)	6.00	6.00	6.00	
			実績値	(単位:件)	6.00	6.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		983.33	1,089.33	
				一般財源(単位:千円)		978.67	1,078.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		史跡の保存・整備、文化財説明板等の設置は文化財の存在と重要性を周知し、文化財保護への理解を得ることができ、文化財の保存や保護意識の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。					

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	文化財公開・啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	973				

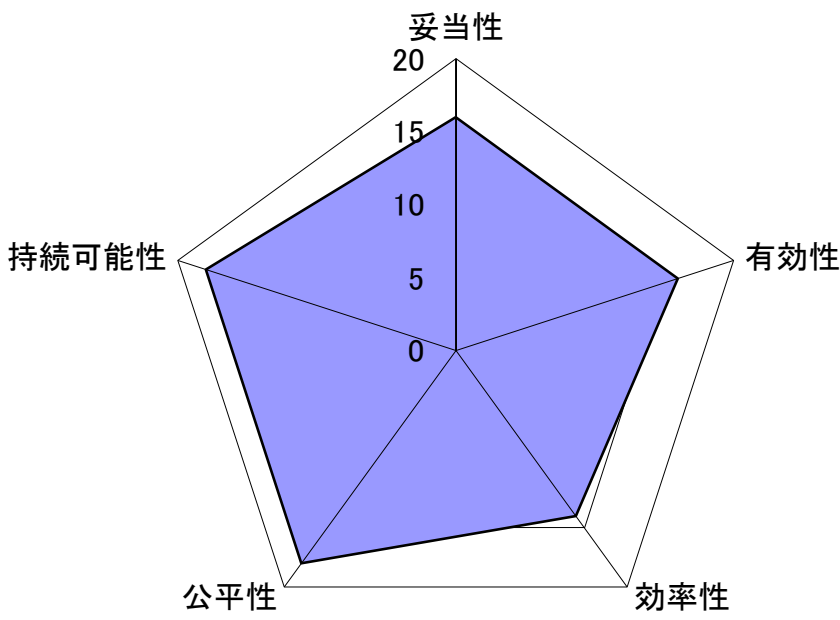
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			
		評価点合計 (100点満点)	82		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	973
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財の説明板の設置、史跡等文化財の適正な管理を行うことにより、市民の文化財への関心が増し、文化財を通して地域への愛着や地域文化を育むことが期待でき、文化財保護の意識を高める上で大きな意味を持つ。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	文化財保存・活用事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	有形文化財、民俗文化財等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	文化財の指定もしくは登録を実施し、文化財の保護をはかる。保存修理が必要な場合など文化財所有者又は保護団体等に補助金等を交付し、文化財の保存と活用をはかる。 文化財を保護し、後世に伝えていくとともに文化財保護への理解を得る。												
(7) 事業概要	文化財調査に基づき、市内の貴重な文化財を保護するため、吹田市文化財保護審議会に諮問し、指定等を行う。また、文化財の保存と活用を図るため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	08	大事業	02	中事業	02	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,534	2,386	6,194	5,956	6,067							
	人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.80	0.80	0.80						
		総額(B)	千円	5,847	5,628	6,536	6,320	6,442						
	総事業費(A+B)		9,381	8,014	12,730	12,276	12,509							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		9,381	8,014	12,730	12,276	12,509							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		9,381	8,014	12,730	12,276	12,509								
財源計(C+D)		9,381	8,014	12,730	12,276	12,509								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	文化財所有者又は保護団体等											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 文化財の指定・登録の件数(文化財の調査の進展により設定するため不定)	目標値	(単位:件)	2.00	2.00	1.00
			実績値	(単位:件)	1.00	0.00	
			達成度(%)		50.0	0.0	
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8,014.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	8,014.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 補助金交付件数	目標値	(単位:件)	6.00	7.00
	実績値			(単位:件)	7.00	6.00	
	達成度(%)			116.7	85.7		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,144.86	2,082.00	
				一般財源(単位:千円)	1,144.86	2,082.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法				過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		文化財を指定すること、指定・登録文化財の所有者等に補助金を交付することは保存事業の推進と地域に伝わる民俗芸能等の伝承活動を奨励することとなり、文化財の啓発につながるという効果が得られるため、今後も事業の継続が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	文化財保存・活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	974				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

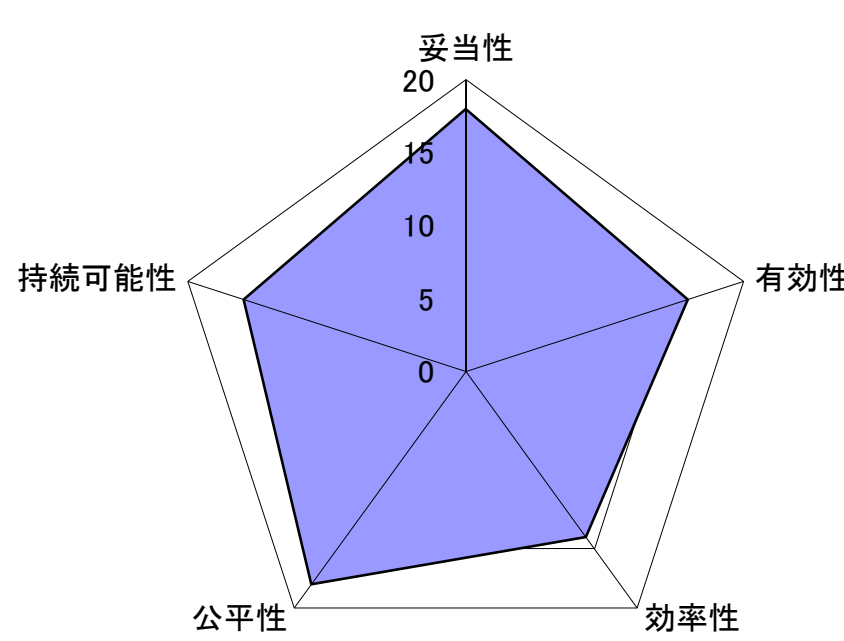
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	974
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化財の補助金は文化財の保存のため現状変更という私有財産権の制限を課すことに対する補償措置とされている。そのため案件に対して精査、金額の決定を行うものであり、件数による数値設定はなじまない。また、補助は、国・府・市の指定や登録文化財に対するもので未指定の文化財に対する制度ではない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財の指定を進めることによって、市民の文化財に対する理解を高めていくことができると考えられる。所有者等の協力や市民研究団体の調査活動を通じて、それらを展示公開や冊子等で報告することにより、広く市民に保護意識の啓発をはかる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田学事始め事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	文化財保護法、大阪府文化財保護条例、吹田市文化財保護条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 30				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	地域に身近にある文化財						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	調査を行ってその成果を冊子にまとめる。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	身近な文化財への関心が増し、文化財を通して地域への愛着や地域文化を育む効果がある。							
(7)	事業概要	地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 08	大事業 02	中事業 02	小事業 03	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		19	0	110	110	20	
		人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.20	0.20	0.20
			総額(B)	千円	1,671	0	1,634	1,580	1,611
		総事業費(A+B)		1,690	0	1,744	1,690	1,631	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		1,690	0	1,744	1,690	1,631	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,690		0	1,744	1,690	1,631			
財源計(C+D)		1,690	0	1,744	1,690	1,631			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大学等専門機関、市内文化財研究団体				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容		身近な文化財等の調査			
①									
②									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 身近な文化財調査実施件数	目標値	(単位:件)	1.00	2.00	3.00
			実績値	(単位:件)	6.00	1.00	
			達成度(%)		600.0	50.0	
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,744.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	1,744.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 身近な文化財調査及び報告書作成件数	目標値	(単位:件)	1.00	1.00
	実績値			(単位:件)	1.00	1.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間実績数の平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,744.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	1,744.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の身近にあり、親しまれている文化財を調査し、冊子としてまとめることにより市民が地域の歴史に関心を持ち、より一層地域を愛し、文化財を生かしたまちづくりに参加していただけるようになると考えられるので必要である。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	吹田学事始め事業	事業区分	その他
事務事業番号	975				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	975
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

報告書は指定や登録の基礎資料となり、これにより国の登録文化財になったものもある。成果は冊子として市民にも公開されており、歴史学習の資料となっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成すると文化財等への理解を深め、市内の文化財保護への理解を得やすい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	文化財保護法、吹田市文化財保護条例、同住宅条例						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明		文化財の活用にかかる公開事業の実施				
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 30			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)					
		目標(どういう状態にしたいのか)	国指定重要文化財を良好に管理し、文化財を将来の市民に伝える。旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)の調査・研究や建造物の特質を活かした積極的な活用を図り、文化財保護の意識を養い、文化の創造、交流を促進する					
	結果(どのような効果が得られるのか)	国指定重要文化財である旧西尾家住宅を保存し、その価値を活かした活用を図ることで、新たな文化の創造、交流、まちづくりに寄与する						
(7)	事業概要	平成17年10月から一般公開を行い、歴史的・文化的遺構の保存と文化財としての価値や味わいを生かして、地域文化の新たな文化創造の礎となる場としての保存活用を図る						
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 08	大事業 02	中事業 03	小事業 01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		22,210	20,791	34,133	32,098	32,363
		人件費	職員数 人	1.00	1.00	1.40	1.40	1.40
			総額(B) 千円	8,352	8,039	11,438	11,060	11,273
		総事業費(A+B)		30,562	28,830	45,571	43,158	43,636
		特定財源(C)		143	132	7,085	7,078	7,459
		(内訳)	国	0	0	6,879	6,879	7,371
			府	0	0	0	0	0
			その他	143	132	206	199	88
		市負担(D)		30,419	28,698	38,486	36,080	36,177
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	143		0	206	0	0		
一般財源	30,276		28,698	38,280	36,080	36,177		
財源計(C+D)		30,562	28,830	45,571	43,158	43,636		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	ボランティア(渡路洲倶楽部、積翠会等)			
				②				
				③				
		主な委託内容		イベントや茶会開催等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ボランティア参加者延べ人数	目標値	(単位:人)	2,594.00	2,258.00	1,895.00
			実績値	(単位:人)	1,925.00	1,529.00	/	
		達成度(%)			74.2	67.7		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.98		28.47
				一般財源(単位:千円)		14.91	23.84	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	年間入館者数	目標値	(単位:人)	8,252.00	8,041.00
	実績値			(単位:人)	7,380.00	6,117.00	/	
	達成度(%)			89.4	76.1			
	目標値の積算方法	過去3年間の平均入館者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.91		7.12
				一般財源(単位:千円)		3.89	5.96	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		保存、調査を進め公開し、活用のお場とすることを今後も実施していくことが重要である。継続することで市民が建造物の存在意義を理解し、地域に根付いていた文化・歴史を認知していくことにつながっていくと思われる						

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	976				

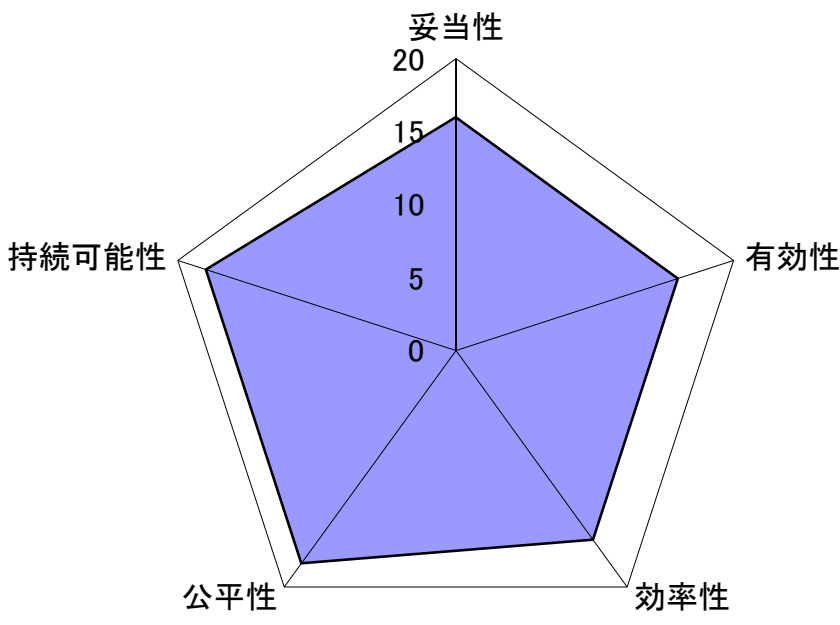
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化財保護課	事務事業番号	976
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促している。こうした歴史的価値を有する施設は、現状を維持しながら、調査や活用を進め後世に伝えていくことが重要であり、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいた、まちづくりにつながっていくと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	文化財保護法、吹田市文化財保護条例、同住宅条						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明		文化財の活用にかかる公開事業の実施				
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 30			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)					
		目標(どういう状態にしたいのか)	国登録有形文化財、市指定有形文化財を良好に管理する。また、調査・研究、市の迎賓館としての活用を図り、文化財保護の意識を養うことで、地域の伝統文化の保存、調査・研究を促進する					
	結果(どのような効果が得られるのか)	国の登録文化財であり、市指定の有形文化財である旧中西家住宅を保存し、活用することで地域の伝統文化を継承させ、新たな文化の創造、まちづくりに寄与する						
(7)	事業概要	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)の保存・公開、調査・研究を行い、地域文化の新たな文化創造の礎となる場として保存活用を図り、迎賓館としても使用する。						
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 10	項 05	目 08	大事業 02	中事業 03	小事業 02
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		13,053	12,697	13,594	13,128	13,515
		人件費	職員数 人	0.70	0.70	0.80	0.80	0.80
			総額(B) 千円	5,847	5,628	6,536	6,320	6,442
		総事業費(A+B)		18,900	18,325	20,130	19,448	19,957
		特定財源(C)		34	34	34	27	27
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	34	34	34	27	27
		市負担(D)		18,866	18,291	20,096	19,421	19,930
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	34		0	34	0	0		
一般財源	18,832		18,291	20,062	19,421	19,930		
財源計(C+D)		18,900	18,325	20,130	19,448	19,957		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)セコム・ホーチキ(株)大阪支店等			
				②				
				③				
		主な委託内容		機械警備業務・消防設備点検業務等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ボランティア参加者延べ人数	目標値	(単位:人)	640.00	612.00	628.00
			実績値	(単位:人)	622.00	663.00	
		達成度(%)		97.2	108.3		
	目標値の積算方法 過去3年間の参加者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	29.46	29.66		
			一般財源(単位:千円)	29.41	29.62		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 年間入館者数	目標値	(単位:人)	1,963.00	1,752.00
	実績値			(単位:人)	1,586.00	1,850.00	
	達成度(%)		80.8	105.6			
	目標値の積算方法 過去3年間の平均入館者数から算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.55	10.63		
			一般財源(単位:千円)	11.53	10.61		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		保存、調査を進め公開し、活用のお場とすることを今後も実施していくことが重要である。継続することで市民が建造物の存在意義を理解し、地域に根付いていた文化・歴史を認知していくことにつながっていくと思われる。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業	事業区分	その他
事務事業番号	977				

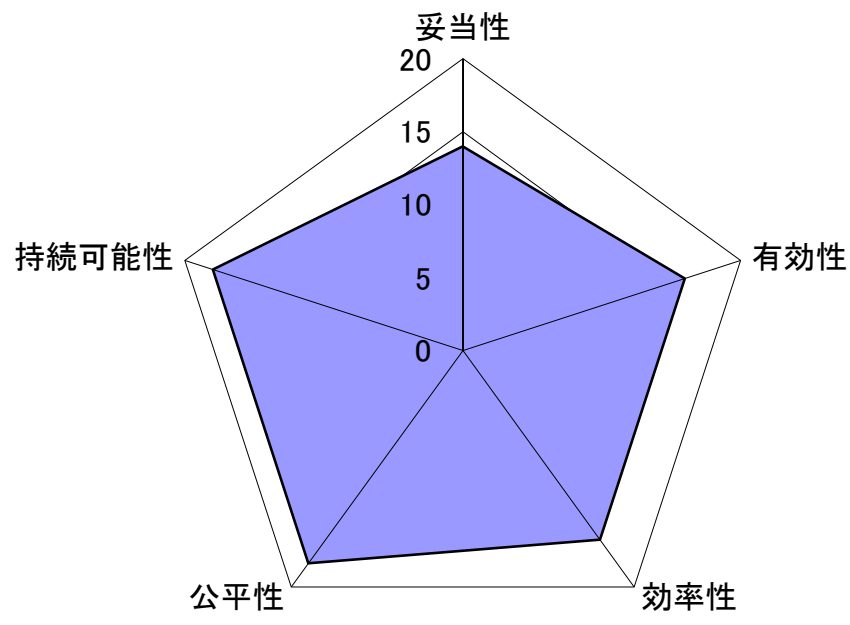
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	977
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化財としての保存・公開を目的に市が寄附を受けたものであり、寄贈者の意向並びに文化財保護の趣旨に基づき運営を図っていく必要がある。 また、建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促している。こうした歴史的価値を有する施設は、現状を維持しながら、調査や活用を進め後世に伝えていくことが重要であり、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいた、まちづくりにつながっていくと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	博物館施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本 安秀

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年度	改正内容	博物館協議会の委員の任命の基準について、文部科学省令で定める基準を参酌して、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定める必要があったため。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	博物館法(法律285号)、吹田市立博物館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	博物館施設及び敷地の管理運営											
	結果(どのような効果が得られるのか)	吹田市立博物館の管理運営を行う。												
(7) 事業概要	吹田市立博物館の管理運営を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	09	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		66,660	64,370	114,576	92,593	75,198							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	1.80						
		総額(B)	千円	16,704	16,078	16,340	15,800	14,494						
	総事業費(A+B)		83,364	80,448	130,916	108,393	89,692							
	特定財源(C)		91	94	91	82	87							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	91	94	91	82	87							
	市負担(D)		83,273	80,354	130,825	108,311	89,605							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0								
	その他	0	0	0	0	0								
	一般財源	83,273	80,354	130,825	108,311	89,605								
財源計(C+D)		83,364	80,448	130,916	108,393	89,692								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 警備等実施業者											
			② 設備管理、空調機器管理等実施業者											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 清掃、ゴミ収集等実施業者											
			警備、設備管理、清掃、空調機器管理等											
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 施設及び設備の老朽化等により発生した修理件数(修理実施により不良部分を改善し、安心安全な資料保管、施設利用等を確保)	目標値	(単位:円)	3,193,000.00	2,264,000.00	1,400,000.00
			実績値	(単位:円)	2,115,280.00	2,264,000.00	
		達成度(%)		66.2	100.0		
	目標値の積算方法 修理箇所を早期に見出し、事故防止に努めるとともに経費の節減を図る。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.04	0.05	
			一般財源(単位:千円)		0.04	0.05	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 開館日数	目標値	(単位:日)	293.00	294.00
	実績値			(単位:日)	292.00	294.00	
	達成度(%)		99.7	100.0			
	目標値の積算方法 開館日数の目標値は「吹田市立博物館条例施行規則」第3条に基づく日数(開館により入館者の確保に務め、経費節減を図る。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		275.51	370.52	
			一般財源(単位:千円)		275.18	370.24	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		博物館には、指定文化財をはじめ多数の文化財等資料を収蔵しています。これら資料の保管のために、収蔵庫・展示室内では温湿度を設定するなど空調管理を実施していますが、空調設備も著しい老朽化が見られています。また、老朽化ばかりでなく、雨漏りでも機器の故障の原因となる危険性ははらんでいます。機器が動作しなくなった場合、文化財等資料の保存に多大な影響が及ぶことから、施設、設備機器の保全是重要な課題となっています。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	博物館施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	978				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	978
-----	--------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>博物館は24年が経過し、施設及び設備の著しい老朽化が見られます。特に電気設備、空調機器等については、故障の発生に止まらず、生産終了等により部品供給が不能となったもの、経年による機能低下や法令順守により機器等の変更が必要となる事例も起こっています。また、建物についても、壁面、屋上、床面の亀裂や防水機能の低下により各所に雨漏りが発生するなど、修理箇所が増加する傾向にあります。修理及び改修については、関係室課と協議しながら迅速的・計画的に実施することにより、被害が拡大する前に、不良部分、故障箇所を改善し、効率的な経費支出、安心安全な資料保管、施設利用等を確保することが重要です。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年度の経済・財政一体改革の推進に向けた地方行財政改革の取組のトップランナー方式の導入推進事業のうち、図書館管理、博物館管理、公民館管理、児童館管理の4事業の指定管理者制度導入が見送られた。

事務事業評価調書

事務事業名	調査研究事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成4年	改正 内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる											
(2)	直近の改正	平成26年													
(3)	根拠法令等	博物館法(285号)、吹田市立博物館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	不特定多数の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域の歴史や自然などに関する諸資料を館蔵資料とともに市民の主体的参加を得ながら、調査研究し、新たな価値を発見し、その情報を公開発信する。また、市民の主体的な発見を支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	調査された情報は情報拠点である博物館に集積され、市民の知的共有財産として活用されることにより地域の文化の発見、見直し、まちづくり、地域文化の創造に役立てられる。													
(7)	事業概要	地域の考古・歴史・民俗・美術工芸等の資料について、市民からの要請や学芸員の設定したテーマに基づいた調査研究を行い、必要に応じて資料を収集整理している。その成果を特別展を主とした企画展や講座・史跡ウォーク・体験学習などの教育普及活動に活用している。加えて自然・環境に関する資料も市民と協働で調査し、夏季展示に反映させている。また、展覧会図録や逐次刊行する「博物館だより」・「博物館館報」などに調査成果を公表し、地域の歴史資料の保存と活用に供している。また、各中学校に準拠した地域の歴史教材を開発し、順次製作している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	09	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,363	3,281	3,438	3,378	3,502							
		人件費	職員数	人	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80						
			総額(B)	千円	15,034	14,471	14,706	14,220	14,494						
		総事業費(A+B)		18,397	17,752	18,144	17,598	17,996							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		18,397	17,752	18,144	17,598	17,996						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			18,397	17,752	18,144	17,598	17,996								
財源計(C+D)		18,397	17,752	18,144	17,598	17,996									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 資料調査件数	目標値	(単位:件)	40.00	40.00	40.00	
			実績値	(単位:件)	89.00	92.00		
			達成度(%)		222.5	230.0		
	目標値の積算方法	企画展開催数×8	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		199.46	196.57	
				一般財源(単位:千円)		199.46	196.57	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 年間講演会・講座・体験学習・史跡ウォーク等・出前講座等の受講者数	目標値	(単位:人)	5,000.00	5,000.00	5,000.00	
			実績値	(単位:人)	19,579.00	18,680.00		
			達成度(%)		391.6	373.6		
	目標値の積算方法	平成15年度講座等諸事業の受講者数×1.5	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.91	0.97	
				一般財源(単位:千円)		0.91	0.97	
	②	指標内容	調査研究活動を公表する年間刊行物数	目標値	(単位:冊)	7.00	7.00	7.00
				実績値	(単位:冊)	8.00	7.00	
		達成度(%)		114.3	100.0			
目標値の積算方法		広報誌4冊 図録2冊 館報1冊	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,219.00	2,583.43	
	一般財源(単位:千円)				2,219.00	2,583.43		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		企画展等における展示内容や展示資料の選定には調査研究の成果が反映されており、企画展等の実施には欠かせない事業である。また、講演会・講座・体験学習・史跡ウォーク等多種多様な教育普及活動の実施においても調査研究の成果が反映されている。教育普及活動については、企画展関連事業を除いては、ほとんどが学芸員が講師をつとめており、費用対効果は高い。また、他の施設や市民団体等からの要請を受けて行う出前講座もかなりの数の依頼がある。刊行物としては、中学生向けに学校区ごとの細かな地域史の視点を取り入れた歴史教材を年間1冊ずつ刊行している。学芸員が市民や学校のニーズに応じて歴史学習のサービスを行うことは重要な責務となっており、現行どおり継続する。					

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	調査研究事業	事業区分	その他
事務事業番号	00979				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化財保護課	事務事業番号	00979
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>博物館の基本的機能のひとつである調査研究事業は専門的知識と技能を伴い、中長期の視点に立って、地域に伝わる文化的遺産の価値を見出し、その情報を展示や普及事業を通じて市民に提供する基礎的事業である。そのため継続的に安定した状況で実施することが必要である。今後も幅広い市民のニーズに応えられるよう、様々な市民団体や研究者と協働して調査研究活動を行っていくことが望まれる。特に小・中学生の歴史学習教材の作成については、中学校向け歴史教材を教員との連携のもと刊行しているところであるが、市民の研究団体や教職員と連携・協働した体制の構築によって、成果の向上と効率化を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	収蔵保管事業				
担当部名	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年	改正内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる											
(2) 直近の改正	平成26年													
(3) 根拠法令等	博物館法(法律285号) 吹田市立博物館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	博物館資料											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	博物館資料を適正に保管、管理する。 地域歴史資料を良好な状態で保管し、市民の知的共有財産として次世代に継承する。												
(7) 事業概要	新たに収集した博物館資料について資料の保存の観点から殺虫、殺黴のくん蒸処理を行う。また、収蔵庫に保管している博物館資料について資料の保存上、適度な環境を維持できるよう、また虫や黴などの被害が生じないように、収蔵環境を維持管理するモニター調査を行い、3年に1回くん蒸処理を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	09	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,754	2,516	1,401	1,003	1,723							
	人件費	職員数	人	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70						
		総額(B)	千円	14,199	13,667	13,889	13,430	13,689						
	総事業費(A+B)		16,953	16,183	15,290	14,433	15,412							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		16,953	16,183	15,290	14,433	15,412						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		16,953	16,183	15,290	14,433	15,412								
財源計(C+D)		16,953	16,183	15,290	14,433	15,412								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	関連業者										
			②											
			③											
	主な委託内容		資料の燻蒸、収蔵環境維持管理モニター調査											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 くん蒸庫での資料くん蒸回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	4.00	
			実績値	(単位:回)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間の適度なくん蒸回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,091.50	7,446.00	
				一般財源(単位:千円)		8,091.50	7,446.00	
	②	指標内容 収蔵庫くん蒸回数(くん蒸不実施年度は収蔵環境維持管理モニター調査の回数)	目標値	(単位:回)	1.00	2.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	1.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法	年間の適度な調査回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		16,183.00	7,446.00		
			一般財源(単位:千円)		16,183.00	7,446.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 良好な状態で保管すべき収蔵資料の数	目標値	(単位:数)	25,810.00	26,260.00	26,394.00	
			実績値	(単位:数)	26,260.00	26,394.00		
			達成度(%)		101.7	100.5		
	目標値の積算方法	前年度に良好な状態で保管できた収蔵資料の数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.62	0.56	
				一般財源(単位:千円)		0.62	0.56	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		地域の歴史、文化に関する諸資料を次世代に伝えるべく博物館に収集し、良好な状態で保管し、失われていく地域文化財を保護する。公共公益性が高く、現行どおり継続する。					

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	収蔵保管事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00980				

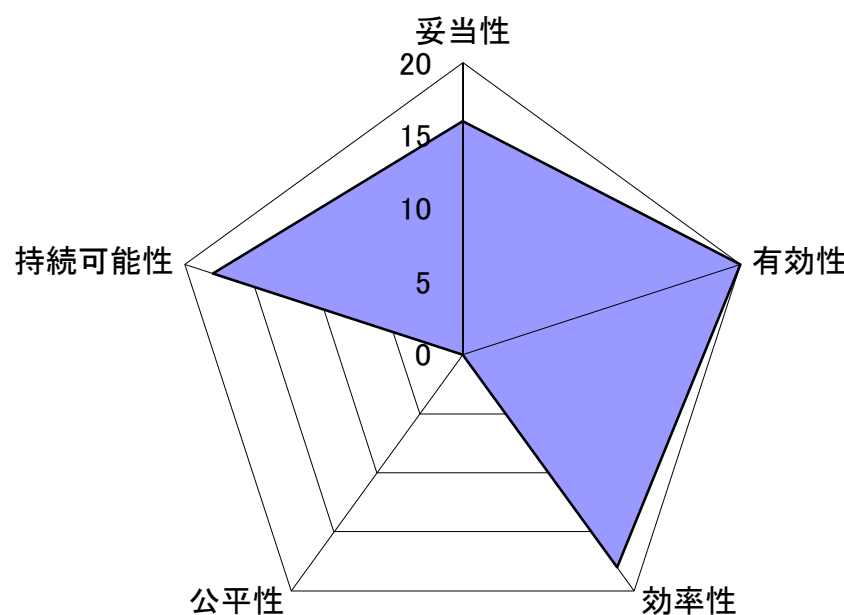
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化財保護課	事務事業番号	00980
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>収蔵保管事業は博物館の基本的機能のひとつであり、地域の大切な文化遺産を適切な環境で次世代へ伝えていくために必要である。なお、収蔵庫全体のくん蒸は経費と環境面への配慮から3年に1度とし、収蔵庫くん蒸を実施しない年度は資料に悪影響をもたらす害虫が生息する環境を館内に作り出さないように、環境維持管理モニター調査を行い、博物館館内を資料の保管に適切な環境となるよう心掛けている。また、現代宗教芸術家の第一人者であった故西村公朝氏の資料、作品を吹田市のかげがえのない財産として収蔵するスペースを確保するための収蔵庫の増築が課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	公開展示事業				
担当部署	地域教育部	室課名	文化財保護課	室課長名	西本安秀

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年	改正内容	博物館の登録先に指定都市の教育委員会が加わる											
(2) 直近の改正	平成26年													
(3) 根拠法令等	博物館法(法律285号)吹田市立博物館条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	不特定多数の市民												
	目標(どういう状態にしたいのか)	歴史資料を中心とする地域の文化に関する諸資料の調査成果をふまえ、市民の主体的な参加を得ながら、資料を公開展示し、その情報を発信し、市民の生涯学習活動を支援する。												
結果(どのような効果が得られるのか)	地域の文化に関する情報を広く発信し、その発見、見直し、創造につなげ、市民生活を豊かにする。													
(7) 事業概要	公開展示事業は、吹田の通史と千里丘陵の窯業生産をテーマとした常設展示の他に特別展等の企画展を実施している。平成28年度の特別展は春季に「田園都市 千里山」秋季に「古代の港か？祭場か？」を実施した。夏季展示では「まもる自然・つくる環境」として公募市民による展示実行委員会と協働して市民参画展示を実施した。また、学校教育との連携を目的に小学生を対象とするむかしのくらしと学校をテーマとした特別企画を博物館ボランティアと協働で実施した。企画展は「金子雪操」を実施し、同会期中に「さわる月間」を同時開催し、さわる展示を常設化によってユニバーサルミュージアムをめざした展示の充実を図った。その他、数多くの講座、講演会、体験学習、ワークショップ等の教育普及事業を実施した。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	05	目	09	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		12,086	10,691	10,857	9,181	10,473							
	人件費	職員数	人	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90						
		総額(B)	千円	15,869	15,275	15,523	15,010	15,299						
	総事業費(A+B)		27,955	25,966	26,380	24,191	25,772							
	特定財源(C)		1,500	1,923	1,039	1,167	1,090							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,500	1,923	1,039	1,167	1,090							
	市負担(D)		26,455	24,043	25,341	23,024	24,682							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	1,091	0	1,039	0	0							
一般財源		25,364	24,043	24,302	23,024	24,682								
財源計(C+D)		27,955	25,966	26,380	24,191	25,772								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 市民展示実行委員会											
			② 市民ボランティア											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 関連業者											
			主な委託内容 展示企画運営の協働など											
<input type="checkbox"/> その他	内容	① ② ③												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 年間特別展、企画展、特別企画展開催数	目標値	(単位:回)	5.00	5.00	5.00
			実績値	(単位:回)	6.00	6.00	/
			達成度(%)		120.0	120.0	
		目標値の積算方法 平成15年度特別展、企画展、特別企画展開催数+1回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,327.67	4,117.33	
	一般財源(単位:千円)			4,007.17	3,922.83		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 年間入館者数	目標値	(単位:人)	18,000.00	18,000.00	18,000.00
			実績値	(単位:人)	34,012.00	31,663.00	/
			達成度(%)		189.0	175.9	
		目標値の積算方法 平成15年度入館者数×1.5	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.76	0.78	
	一般財源(単位:千円)			0.71	0.74		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		歴史資料を中心とする地域の文化に関する諸資料の公開展示は、地域文化の発見、見直し、創造の観点から博物館業務の基本として堅持しつつ、わかりやすく、魅力的な展示への改善を続けていく。地域の歴史を主題とする展示テーマや展示の予算規模などの枠組みを維持し、企画展のテーマによっては市民や市民団体の参画を取り入れ、常設化したさわる展示は、ユニバーサルミュージアムの機能も強化しつつ、学校教育、市民、地域との連携をはかりながら公開展示事業は、現行どおり継続する。				

事務事業分析シート

所属名	文化財保護課	事業名	公開展示事業	事業区分	その他
事務事業番号	00981				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化財保護課	事務事業番号	00981
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

企画展等で資料を公開展示することで、地域の文化に関する情報を積極的に発信している。また、展示テーマに応じて市民参画の手法を取り入れ、市民のニーズ、市民の博物館活動への積極的な参加をめざしている。こうした市民参画と展示品の情報を視覚以外からもみつける「さわる展示」の実施による博物館利用に関するマイノリティーへの対応は、新たな利用者層を創出し、効率性にもつながっている。しかし、展示のテーマによって観覧者の数は大きく変わる。年間入館者数は、企画展によって大きく変動するものであり、安定的に入館者数を維持、あるいは増加させることには難しさがある。一層広報の充実をはかり、展示テーマについては、市民の興味や関心が何にあるのかを把握していく。今後は現代日本を代表する西村公朝氏の作品を受け入れ、博物館を特徴づけるコレクションとして活かし、展示の充実を図っていきたい。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)